
不思議な1人と3匹暮らし

小夏

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

不思議な1人と3匹暮らし

【Nコード】

N7841Z

【作者名】

小夏

【あらすじ】

両親が海外へ転勤になり、1人暮らしをすることになった美羽^{みづ}。

3匹の猫…だったはずの3匹のイケメンと美羽の楽しい(?)毎日。

ブローグ

「宇宙、星夜、朝飛、ごはんだよー！」

しばらく待っていると、元気のいい足音と共に3匹の猫がやってくる。

両親が仕事で突然海外に行ってしまった、美羽は慣れない1人暮らしに不安でいっぱいだ。けれど猫たちをみていると寂しさも忘れることができた。

1人暮らし2日目の夜。

部屋で宿題をしていると、ドアが勝手に開く。猫が自分でドアを開けるのはいつものことなので気にしていなかったが、どうも様子がおかしい。ドアの方を見た瞬間、美羽の脳内では緊急思考停止ボタンが押された。

「あ…あの？」

「ん？」

「何？」

「どうかしました？」

目の前で首を傾げる3人のイケメンたち。

誰？どこから？どうやって？何しに？

頭の中はかなり混乱している。

「誰？」

とりあえずそこからだよ。

「俺だ。」

「やっぱりわかんないよね…。」

「僕、朝飛です。」

俺って誰だしわかんないしって…ええっ…？

朝飛って、まさか、ね。

「あ、朝飛さん。う、うちの猫とおんなじ名前…ですね、はははははー…。」

「だーから！それが僕なんですって！」

「俺、宇宙だよ？」

「ボク、星夜。」

…これ、夢だ。寝よう。

こうして私は現実から目を背け、とりあえず夢の世界へと非難した。

「朝。」

「起きないと遅刻するよー？」

「起きてくださいっ！」

…誰？あ、お母さんか。

にしては人数多くない？

眠たくて働かない頭をなんとか動かして、そういえばお母さんもお父さんも家にいないんだってことは思いだす。

…じゃあ、誰だよ。

目を開けた。

閉じた。

…夢じゃなかったのか。

もう一回寝よう。

そうしたら今度こそ目が覚めるかも？なんて、もうほとんど打ち碎かれた希望をもってみたり。

「二度寝かよ。」

「学校はー？」

「ほんとに遅刻ですよ？」

…うるさい。

眠れそうにないので仕方なく起きた。

っていうか今日土曜日だし。

何が遅刻だよ自称うちの猫め。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7841z/>

不思議な1人と3匹暮らし

2012年1月8日19時50分発行